

【22_160思考系メルマガ】なぜ『母数』が大事なのか

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードの『型』を定める為には『検証母数』が大事という話を常々しています。

『母数』という言い方をしていますが、簡単に言えば『型に沿う(と思う)チャートをとにかくいっぱい集めて、観る』ということです。

┌
└─ 1通のメールを貰いました。

個人の特定を防ぐために要点だけを整理して書くと

「要はやり方を覚えてしまえばいいわけだから、右の見えているチャートを沢山集める時間があれば、その分トレードして覚えればいいのでは？」

というものです。

一見すると、こう考えて取り組む方が効率的に思えるかもしれません。

ですが、それでも僕は敢えて『先ず、検証母数を1つでも多く集めること』を強く推します。

なぜか

それは、【字面で表現される方法論をなぞっただけでは、一貫したトレードはできない】からです。

「やり方を覚える」段階では、誰かのトレードの方法を言語・イメージ化された情報をインプットした状態です。

勿論、この時点で「やり方」は頭に入っているはずですから、少なくともチャート上の「どこを狙ってトレードするか」のイメージはある程度出来ていると思います。

ところが、これだけでは再現性のあるエントリーが出来ないというのが、トレードの難しいところなのです。(裏返せば面白い点もありますが)

そのインプットした「やり方」というのは、ある人が自分の経験則を言語化して出来たものなので『その人の視点・経験』が反映されています。

ですが、あなたは『“その人”の沢山チャートを見てきた経験則』まではインプット出来ていない。

この前提の違いが、同じ言語情報をインプットしても、同じトレードを再現できない最大の理由なのです。

ではどうすればいいのか？

ここで最初の話に戻るのですが、インプットした「言語情報」をもとに過去のチャートを検証し、『自分の経験に基づく言葉』に“翻訳”する作業が必要になります。

それも、過去のチャートを1～2枚切って終わり！ではなく

10枚、100枚、、、と「ひとつの言語情報」に基づいて自分なりに一貫した根拠の揃っているチャートをひたすら探す。

そして、その時に感じた疑問・気づきを漏れなくメモする(ノートに手書きがおすすめです)

過去チャートを検証していて、何も疑問が湧かないということはないはずです。

かく言う僕も、自分の型で検証していてすら未だに色んな疑問が湧き、それが次の検証のテーマに繋がったりします。

この積み重ねによって得られた情報を基に『“自分語”に翻訳されたルール』が出来た時

そこで初めて実トレードによるフォワードテストを始めます。

そして、その時のトレードの1回1回も丁寧に記録に残し、そこで生じた疑問・不安などを振り返り、潰していく作業を繰り返します。

結局、過去検証もフォワードテストも、やっていることは『反復練習』なのです。

先日、一緒にサロンを運営している僕の短期分析(というかトレード全体 笑)の師匠たるomuさんが

非常に大事なことをツイートしていました。

▼その時のツイート▼

<https://twitter.com/domu86519856/status/1533966237117857792?s=20&t=4iGZZYDxnvlFvgmf-LiPzQ>

トレードにおいて、『一貫性』を阻む一番の敵は 迷い です。

理想的な動作は、いざ自分の『型』が来た時に迷わず利確・損切りの根拠を決めてエントリーする事です

そのためには、『型』に対する信頼』が欠かせません。

自分の『型』に沿うチャンスを本当に『チャンスだ』と認識できるようになるには

無意識レベル(=反射的)にエントリー位置を決め、注文ボタンを押せるようになるまで

何百、何千ものチャートから『共通パターン』を認識出来るようにする必要があります。

これが、『母数』を求める最大の理由です。

慣れるまでが大変ですが、これを習慣(ルーティン)づけられるように頑張りたいですね。